



# 島根県における 地域・職域連携の取組について

令和8年2月4日（水）

令和7年度地域・職域連携推進関係者会議



島根県健康福祉部健康推進課  
健康増進第一係 西原真結子



健康長寿しまね推進キャラクター  
「まめなくん」

# 島根県の概要



隠岐圏域

隠岐の島町

西ノ島町  
海士町  
知夫村



松江圏域

松江市

出雲圏域

出雲市

大田圏域

大田市

浜田圏域

江津市

浜田市

益田圏域

益田市

津和野町

吉賀町



雲南圏域

雲南市

飯南町

奥出雲町

安来市

※ 1 しまね統計情報データベース (R7)

※ 2 経済センサス活動調査 (R3)

総面積

6,708.26km<sup>2</sup>

市町村数

19市町村  
(8市10町1村)

二次医療圏

7 圏域

総人口※ 1

633,105人

65歳以上※ 1

223,987人  
(35.4%)

県内事業所  
数※ 2

33,694事業所

従業者規模  
別※ 2

5人未満 58.1%  
5～9人 19.3%  
10～19人 12.2%  
20人以上 9.7%

# 計画への位置づけ



## 島根創生計画第2期（2025-2029年度）

「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる」

### 3つの柱

- ・人口減少に打ち勝つための総合戦略
- ・生活を支えるサービスの充実
- ・安全安心な県土づくり

「島根を創る人をふやす」ことを目指す取組の1つとして健康づくりが位置づけられています  
**目標は『健康長寿日本一』!!**



## 健康長寿しまね推進計画第三次（2024-2035年度）

「目指せ！生涯現役、みんなで延ばそう健康寿命」

「目指せ！健康長寿のまちづくり」

【基本目標】

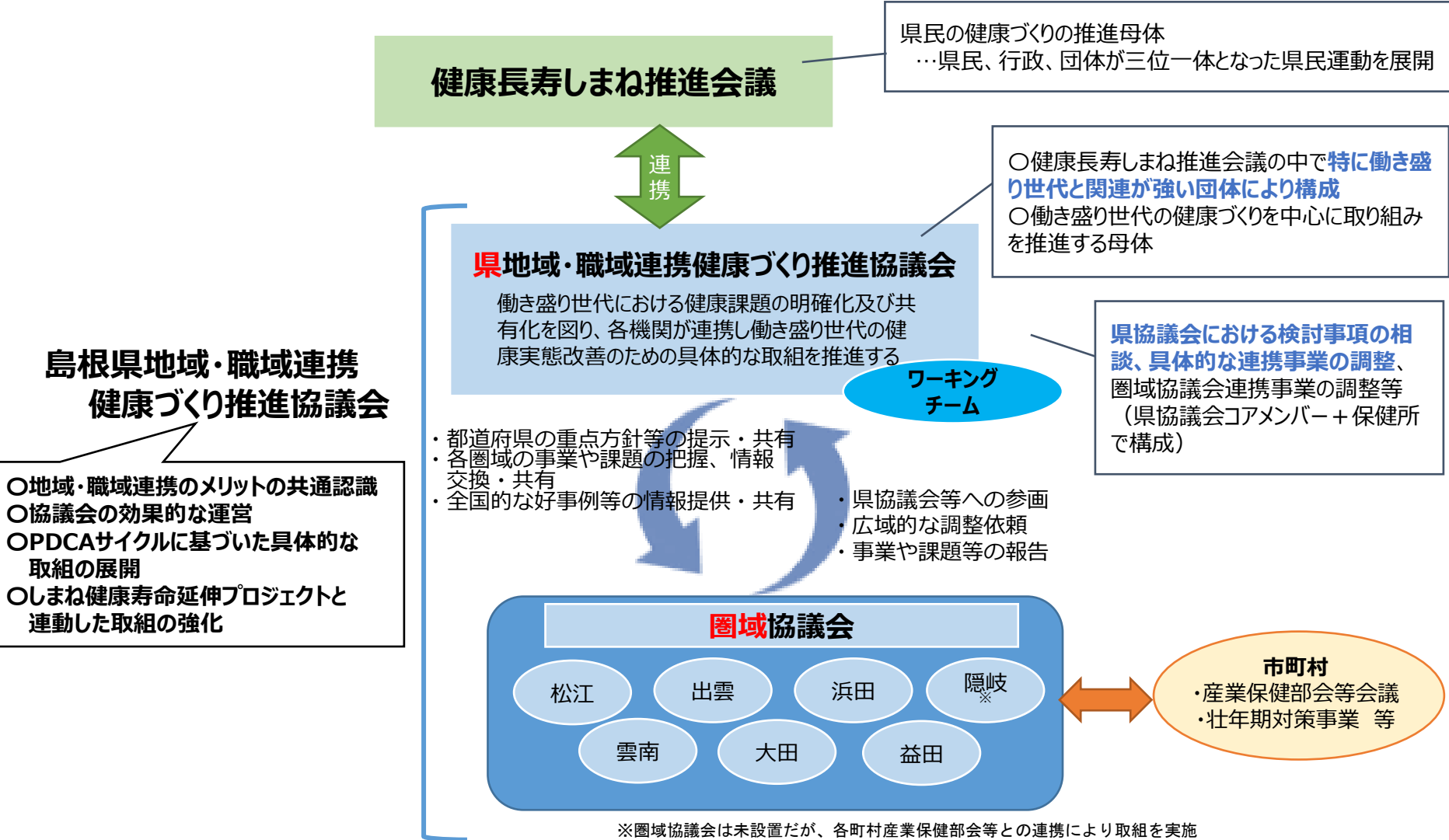
### 健康寿命を延ばす

- ・平均寿命を延ばす
- ・65歳平均自立期間を延ばし、二次医療圏の格差を減らす

【第三次計画 推進の柱】

- 柱1 住民主体の地区ごとの健康づくり活動の推進
- 柱2 生涯を通じた健康づくりの推進
- 柱3 疾病の早期発見、合併症予防・重症化予防
- 柱4 多様な実施主体による連携の取れた効果的な県民運動の推進

# 島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会の体制図



# しまね健康寿命延伸プロジェクトとの連動

生涯にわたり、いきいきと健康で暮らし、地域で活躍していくことは、県民誰もの願いであり、地域の活力の維持や活性化のために重要  
～ 県民自ら健康づくりに取り組めるよう環境の整備を進め、健康長寿しまね県民運動として健康寿命の延伸を図り、  
健康長寿日本一を目指します ～

健康長寿「+1（プラスワン）」活動の展開  
『減塩』『野菜摂取』『運動』など

## 推進体制

### ●しまね健康寿命延伸プロジェクト推進本部の設置

- 健康寿命の延伸を目指し、知事をトップに、庁内関係部局が連携して施策を推進
- 推進本部の下に、推進連絡会議を設置
- 「しまね健康寿命延伸取組宣言」  
県民へアピール、全県（49団体）で取組実施

PJ事業検討会

食育・食の安全  
推進協議会

健康長寿しまね  
推進会議（49団体）

がん対策  
推進協議会

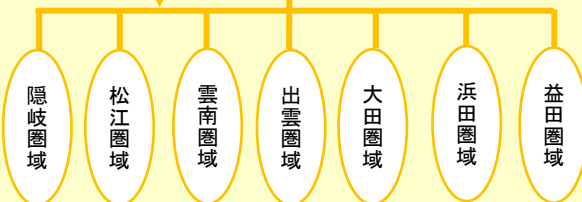
糖尿病委員会

循環器病対策  
推進協議会

歯科保健  
推進協議会

地域・職域連携  
健康づくり推進協議会

活動推進  
委員会



市町村・関係団体等

## 取組

### ●健康寿命延伸強化事業

### ●働き盛り世代の健康づくり強化事業

### ●健康な食環境づくり事業

生活習慣病予防対策  
(がん、循環器病（脳卒中・心疾患等）、糖尿病、歯科疾患等)

たばこ対策「望まない受動喫煙をなくそう」

フレイル（虚弱）予防

など

各部局における取組

健康寿命を延伸！



# 島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会構成団体



# 県協議会における取組の柱

- 関係機関と協働し、事業所における健康づくり・健康経営を  
**重層的に支援**
- 健康長寿しまね県民運動と連動した**取組の展開**
- 島根創生計画に基づく「**しまね健康寿命延伸プロジェクト**」の  
柱の1つとして事業所における健康づくりを強化
- 事業所（働き盛り世代）が**情報収集しやすい環境づくり**



# 健康経営の推進に向けた登録・認定事業

## しまね☆まめなカンパニー登録事業/ヘルス・マネジメント認定制度

県民が生涯現役で健やかに自分らしく暮らしていけるよう、事業所において健康づくりに取り組むことは、**県の目標である「健康寿命の延伸」につながる。**

また、従業員が元気でいきいきと働くことにより、**事業所の生産性やイメージ向上などの効果が期待できる。**以上のことから、健康づくりに取り組む事業所を認定し、**健康経営の推進を図る。**

## 【しまね☆まめなカンパニー登録事業】

事業所の健康づくり・健康経営、に取り組みませんか？  
しまね☆まめなカンパニーを募集します

健康経営とは、従業員の健康づくり・健康経営に取り組む事業所や事業者等への健康情報発信に協力いただける事業所に「しまね☆まめなカンパニー」へ登録していただくことを認めています。

Q しまね☆まめなカンパニーはどんなことをするの？

A メニューの中から事業所が無理なく取り組めることをすればOK！

取組メニュー（選択制）

- ★ たばこ対策
- ★ 生活習慣の改善（食生活・運動・歯と口の健康・アルコール）
- ★ 心の健康づくり
- ★ がん検診・各種健診の啓発
- ★ 従業員の治療と仕事の両立支援

取組数に合わせて★を差し上げます！  
目指せ5つ星★！

登録の手順と実施・報告

- 1 申込書に記入し（裏面様式）、保健所へ提出
- 2 保健所に届いた申込書は県庁健康推進課へ送付  
県庁健康推進課で申請書の内容確認、登録
- 3 認定後（ステッカー）を県庁健康推進課から保健所を通じて  
事業所に配布
- 4 各事業所で選択したメニューに取り組む
- 5 年度末に活動内容を県庁健康推進課に報告

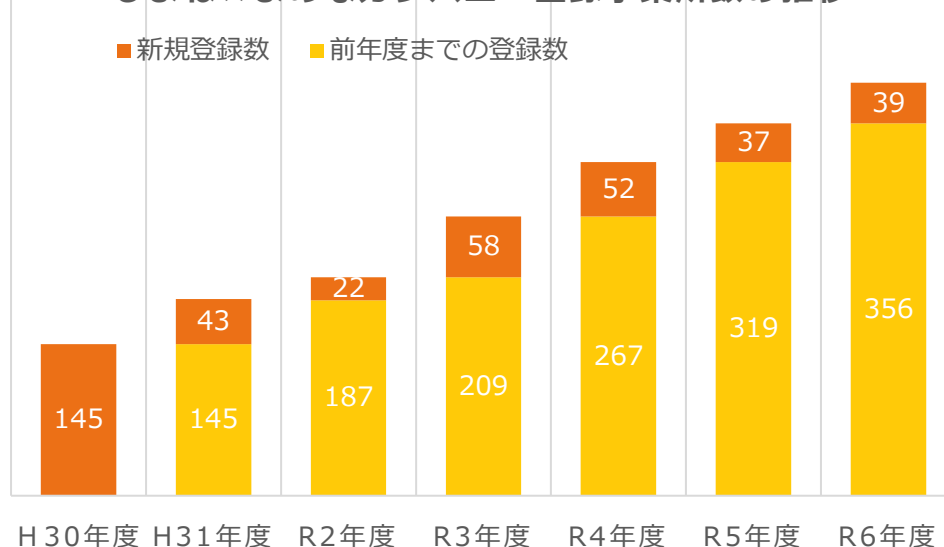
県庁健康推進課 1階（1階） しまね☆まめなカンパニー事務局  
TEL: 0852-22-4701 FAX: 0852-22-4702  
Eメール: mamemakanpani@pref.shimane.jp  
〒760-0801 島根県松江市大森町1-1-1 島根県庁本庁舎 2階 22-4701 健康推進グループ（電話0852-22-5266）

★次の①～⑤のうち1つ以上の取組をしている事業所を、**島根県が認定・登録**し、ホームページ等で紹介

< 5つの取組の柱>

- ① たばこ対策
- ② 生活習慣の改善
- ③ 心の健康づくり
- ④ がん検診・各種健診の啓発
- ⑤ 治療と仕事の両立支援

## しまね☆まめなカンパニー登録事業所数の推移



登録事業所；**438事業所**（R7.12末時点）

目標550事業所  
（令和9年度）



# 保険者と連携した取組

協会けんぽと連携

## 【ヘルス・マネジメント認定制度】

- ★ **全国健康保険協会島根支部、山陰中央新報社**及び**島根県**が連携して実施している事業
- ・ 協会けんぽおよび島根県は表彰基準を満たした事業所に対し、連名の認定証を交付  
(管轄の保健所が事業所を訪問し、認定証を交付)
- ・ 5年連続認定かつ直近で認定基準をクリアすれば、協会けんぽ島根県支部長及び県知事から表彰 (R7: 32団体)

健康宣言事業所 ; **1,591**事業所 (R7.11末時点)

認定事業所 ; **209**事業所 (R7.9末時点)

## 【健康経営セミナー】

- ★ **全国健康保険協会島根支部、島根県**が共催で実施 (R7)
- ・ 内容 第1部 : 専門講師による講演  
第2部 : 県内企業による事例発表  
第3部 : パネルディスカッション
- ・ 参加者 会場21名、WEB75名 計96名



ヘルス・マネジメント認定事業所の4社にご登壇いただき、魅力ある職場づくりや健康経営の取組を共有いただきました

～令和7年度認定事業所表彰式の様子～



令和7年度は**32団体**が表彰されました



# 延伸PJと連動した取組①



## 【しまね☆健康づくりチャレンジ月間】 9月

### <概要>

目的：職場や家庭で健康づくり活動に積極的に取り組んでもらうための  
**きっかけづくり、環境づくり**につなげる

対象：すべての島根県民

内容：チャレンジする**+1**を決めて、1ヶ月の取組状況を報告し、特典に応募する。個人でも、職場単位でも参加可能。

→取組内容から選定し特典を送付

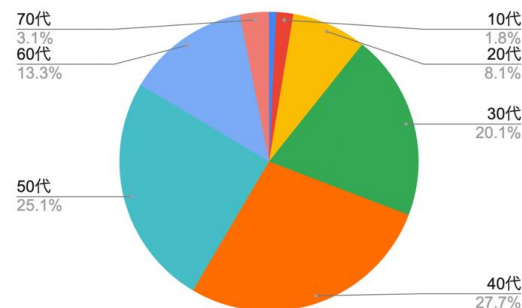
周知：新聞やSNS等の活用その他、民間保険会社等とも連携。  
県地域・職域協議会構成団体とも連携して周知。

## 令和7年度のテーマ「始めよう！+1の健康づくり」

### <参加状況>

	R7年度	R6年度
個人	712名	402名
事業所	25社(327名)	24社 (276名)
家族	—	50組 (174名)
合計	1039名 ↑	852名

### <個人の部 年齢構成>



島根県では、今より一つ多く健康づくりに取り組む「**+1 (プラスワン)**」活動を推進しています。チャレンジ月間には働き盛り世代の方に多くご参加いただいています。



取組を継続してもらうために、  
**9月～12月**  
**謎解きウォークラリー開催**





## 【謎解きウォークラリーしまねクエスト】

### <概要>

目的：9月のしまね☆健康づくりチャレンジ月間と同時期に各地域のウォーキングコースを活用したイベントを実施し、**県民自らが健康づくりに取り組めるような環境づくり**を行う。

対象：島根県民

内容：「**謎解き**」×「**ウォーキング**」で楽しく体を動かすイベント。  
各コースのスタート地点に行き、特設サイトにアクセスしてスタートする。期間中であればいつでも自由に参加可能。  
→参加者から抽選で賞品をプレゼント

周知：協会けんぽにて、会員等への周知や新聞広告等により広く周知。  
県にて、しまね☆健康づくりチャレンジ月間と合わせ、新聞やSNS等の活用その他、民間保険会社等とも連携して周知。  
また、実施エリア内の小中高等学校へもチラシを配布。

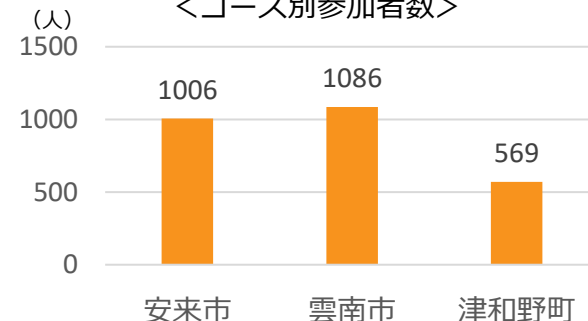
### <R7年度の状況>

実施期間：令和7年9月1日～令和7年12月31日

実施エリア：安来市/雲南市/津和野町

参加者数：合計**2,661**人

<コース別参加者数>

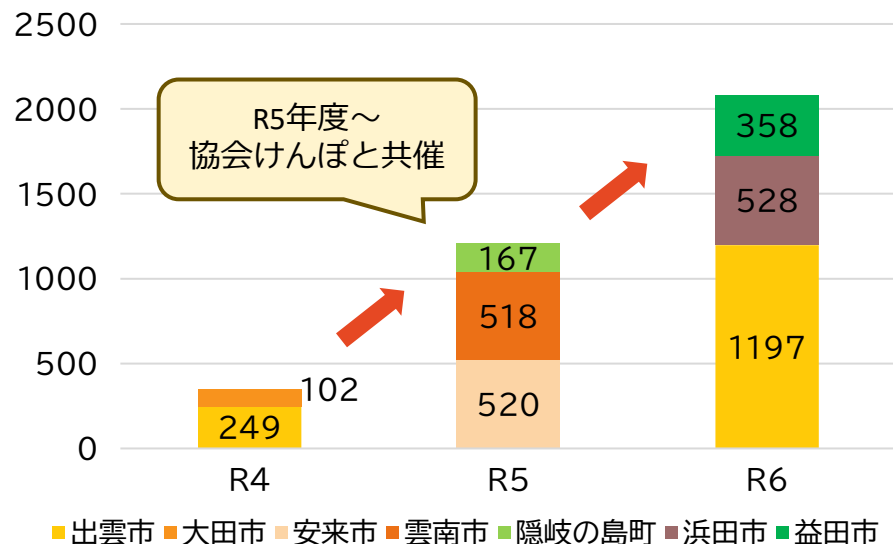


# 延伸PJと連動した取組②-2

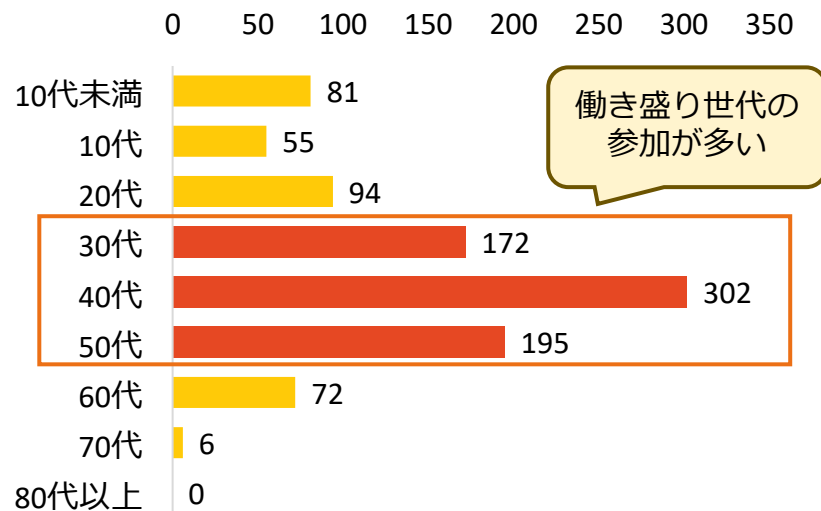
協会けんぽと連携

## 【謎解きウォークラリーしまねクエストの実績等】

### (人)参加者数の推移



### 参加者の年代 (R6)



### 普段の歩数 (R6)



### <協会けんぽとの連携>

#### ○役割分担

- ・協会けんぽ：働き盛り世代への幅広い周知
- ・県：事業の企画、進捗管理
- ・協会けんぽ・県：委託業者と打合せや振り返りを実施

### <課題>

- ・継続実施に向けて事業内容や役割分担の見直しが必要

# 今年度新たな連携した取組

労働局と連携

## 【島根産業安全衛生大会でのコラボ】

NEW

労働局・さんぽセンター・県でコラボ企画実施  
テーマ：中高年労働者の健康づくり



クイズステージ



健康チェックブース



ベジチェック



# その他の取組

## 【事業所（働き盛り世代）が情報収集しやすい環境づくり】

### ★しまね働く人と職場の健康づくり応援サイト

- ・情報の一元化を図るためにホームページを開設（H30～）
- ・各機関が実施する研修・イベント情報、事業所の取組事例など、事業所（働き盛り世代）の健康づくりに関する情報を集約して発信

R6年度作成取組事例集  
を応援サイトに掲載



### ★メールマガジンを活用した情報発信

- ・しまね☆まめなカンパニーへメールマガジンによる健康づくり情報を配信（R1～）
- ・担当者が自ら健康づくり情報にアクセスしなくても、情報が入ってくる仕組み

### ★周知機会一覧の活用

- ・対象者への周知ルートを整理するため、協議会構成団体における周知機会を集約

## 【圏域協議会の取組・県協議会との連動】

### ★ワーキングチームにて情報共有

### ★「事業主セミナー」の実施

労働基準監督署・産業保健総合支援センターと共催

### ★事業所訪問（登録・認定事業所、地域の事業所への訪問）

→島根産業保健総合支援センター、商工会議所・商工会、市町村等と連携して実施



# 県協議会の取組を継続するために

## 連携を大切に…

- ・各構成団体の取組実績・課題・方向性等をまとめた一覧を毎年作成し、協議会にて共有。→各機関の役割の見える化、担当者変更時も参考に。
- ・PDCAを回せるよう各事業で評価を行い、継続実施に向けて関係機関と検討の場を持つ。
- ・ワーキングチームを活用し、具体的な取組を推進する体制を維持する。保健所とも連携し、圏域単位での取組とも連動を図る。

## 県と圏域の役割（H30年度の整理）

県	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県協議会として<b>全体の方向性を定める</b>（P・C・A）</li><li>・ 県全体の底上げを図るため、圏域協議会における取組実施に向けた<b>広域調整</b>（D・A）</li><li>・ 県協議会における連携事業の実施（D）</li></ul>
圏域	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県協議会が示す<b>方針を受けて、PDCAサイクルに基づいた</b>事業の実施（P・D・C・A）</li><li>・ <b>圏域固有課題の解決に向けた連携事業の実施</b>（D）</li><li>・ 県協議会へ圏域広域調整に関する要望を提示（C・A）</li></ul>



# 今後に向けて

## 今後の方向性

- ・ 事業の継続実施に向け、関係機関と評価・見直しを行う。
- ・ 関係機関と連携してできる新たな方法や機会を創り出す。
- ・ 圏域の取組とも連動した事業内容を検討する。



**「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」**を目指し、引き続き地域・職域の関係機関で連携して保健事業を実施・継続し、職場・家庭・地域でいきいきと健康に過ごせるよう体制・環境づくりを進めていきます

